

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)
 地方公共団体: 大分県
 調査地点: 大分川河口(大分市)

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[6]中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※15	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※4.7	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が5から8までのもの。)	nd	nd	nd	※※3.5	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.56	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	1.1	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	1.2	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	nd	nd	※0.62	0.62	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.59	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	nd	nd	nd	0.59	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※3.0	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.46	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.51	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.53	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.65	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.47	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	nd	nd	nd	0.34	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※4.2	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.71	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	1.0	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.62	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.67	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.67	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	nd	nd	nd	0.51	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	nd	nd	nd	※※2.9	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.50	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.54	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.69	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.49	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.42	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	nd	nd	nd	0.26	0.51

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※:参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注3) ※※:アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注4) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注6) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。